



ZedShoulder

CT撮像、再構成条件

患部

Shoulder

管電圧

標準管電圧(120kVp目安)

データ形式

DICOM形式

スライス画像

Axial方向のスライス画像で同シリーズ

スライス厚

2 mm以下を推奨
※オーバーラップなし

再構成スライス間隔

2 mmまたはそれ以下を推奨
※2mmで再構成不可の場合はそれに近い間隔で再構成

FOV

患側骨全体が入る値で設定

Gantry Tilt

0度

データ保存 (CDまたはDVDの場合)

- Axial画像のみDICOM形式で保存
- 1 ディスクに1シリーズのみ同じフォルダにまとめて保存
- 専用Viewerやスカウト不要
- Coronal,Sagittal画像は不要

再構成条件：軟部条件推奨

GE : STANDARD

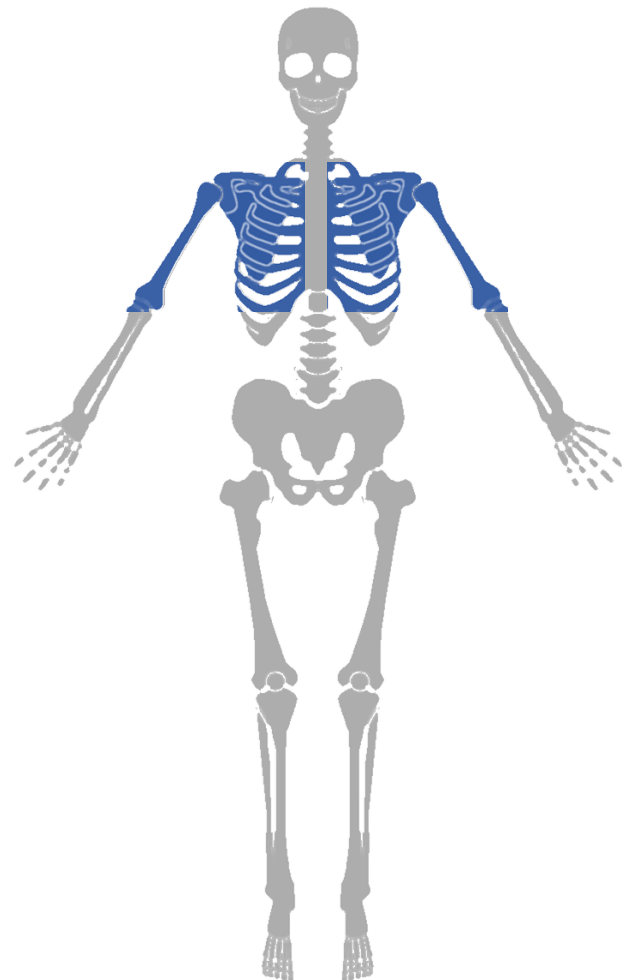
Canon : FC01 , FC03 , FC04 , FC10 , FC15

Philips : B

SIEMEND : B30s , B41s

撮影範囲

患側の肩甲骨、上腕骨全体が入る範囲



※患側片側だけでもプランニング可能です